

平成17年度地球温暖化防止活動大臣表彰受賞者

3. 対策活動実践部門

	件数	区分	自治体・学校	企業	民間団体等
申請者数	30	自薦	0	6	11
		他薦	0	3	10
受賞者数	8	自薦	0	1	5
		他薦	0	1	1

受賞者	功 績
NPO地域づくり工房	「市民からの仕事おこし」をテーマに、水資源を地域の財産として活かし、農業用水路を利用したミニ水力発電実験施設を立ち上げ、市内の事業者を対象にミニ水力発電を利用したESCO事業を提案するなど、自然エネルギーで自立できる地域づくりを目指した活動を展開し、市民への普及啓発、地球温暖化防止活動等の環境保全活動に貢献。
NASL地球環境フォーラム	市民共用自転車「みどりの自転車」制度を展開し、近距離でのマイカー利用者を減らし、自転車による通勤、通学、買物を奨励するCO2削減活動を実施。あわせて地球温暖化防止の普及啓発を促進。
香川松下電工(株)	鉄道へのモーダルシフト、材料調達物流方法改善(国内輸送距離短縮)、材料調達、商品輸送業者のパートナーシップ化、積載効率改善によるCO2削減による環境にやさしい物流方法推進により、CO2排出量削減、地球温暖化防止を図り、更にNOx排出量削減、エネルギー節約を実施、地球環境にやさしい輸送手段を構築、実施した。
関西広域連携協議会	全国に先駆けて、平成11年度から「夏のエコスタイルキャンペーン」を実施し、夏季(6月～9月)のオフィス等における適正冷房(28℃)の実施徹底と軽装(ノーネクタイ、ノー上着等)での執務を幅広く呼びかける運動を实践、高い実施率を収めるとともに他地域へも働きかけ、中部圏知事会、四国地球温暖化対策推進連絡協議会と同一ポスターを使用、八都府市首脳会議とも連携して普及啓発を実施。

受賞者	功 績
人吉・球磨自然保護協会	分収造林地を対象として、排出される二酸化炭素を、微量でも吸収できる森林づくりをテーマに、植林地の草刈りや除伐などの森林作業を、大都市の子どもたちと一緒に、宿泊しながら地球温暖化防止活動を実践。また、活動のマニュアル化を図ることにより、ボランティアによる地球温暖化防止の森づくり活動を、他の地域へ普及させようとしている。
(株)八十二銀行	『エコライフ活動(家庭でできる環境活動)によるCO2削減運動』に全職員とその家族が一丸となって取組み、地球温暖化防止に貢献。
特定非営利活動法人 白神山地を守る会	ブナの広葉樹の森の復元・再生活動を実践し、ブナの森の保全活動を通じて二酸化炭素吸収や森の保水能力などの自然保護、環境問題と併せた、地球温暖化防止活動の普及啓発の実施。
おおつ環境フォーラム	地球温暖化防止を地域から推進するため、総合目標として「市民一人当たりの二酸化炭素排出量を、2010年度において1990年度排出量より6%削減する」ことを掲げた大津市地球環境保全地域行動計画(『アジェンダ21おおつ』)に示された取り組みを全ての主体の自発的な行動とパートナーシップにより実践し、地域から地球環境保全活動を推進する環境パートナーシップ組織として定着し、成果を上げている。